

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)バウス東林間 新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目1562番66, 67, 653	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2022年8月31日
敷地面積	2,518 m <sup>2</sup>	作成者	フアースコーポレーション㈱一級建築士事務所 藤倉 正巳
建築面積	1,464 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月31日
延床面積	5,415 m <sup>2</sup>	確認者	フアースコーポレーション㈱一級建築士事務所 藤倉 正巳

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

音環境	3.0
温熱環境	3.8
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性	2.5
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.8
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	小田急線東林間駅徒歩約5分の第一種住居地域に住宅単一用途の建物を計画をした。植栽によって、沿道に緑の連続性を確保した。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱等性能等級4 レースカーテンと庇(バルコニー)で昼光制御 F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4 BEI=0.84	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率78% 光害抑制に配慮
Q2 サービス性能	住宅性能評価における劣化対策等級3 空調・給排水配管の更新対策に配慮	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される